

～健康長寿は**歯**から～ ～健口から**健幸**へ～

2026
May

.....
5

No.839

熊歯会報

熊本県歯科医師会

Kumamoto Dental Association



CONTENTS

- | | | | |
|---|----|------------------------|----|
| ● 巻頭言（理事 立山 徹也）..... | 3 | ● 報告..... | 14 |
| ● 代議員会報告..... | 4 | ● 国保だより..... | 15 |
| ● 理事会報告..... | 6 | ● 口腔保健センター新聞第9号..... | 16 |
| ● 委員会報告（地域保健学校歯科、医療対策）..... | 8 | ● Legend～伝説のささやき～..... | 18 |
| ● 郡市会報告（下益城郡、宇土郡市、荒尾市・玉名郡市、
菊池郡市、水俣・芦北郡市）..... | 10 | ● お知らせ..... | 19 |
| ● お知らせ..... | 11 | ● ご訃報・職員人事..... | 20 |
| ● 報告..... | 13 | ● 会務報告..... | 21 |
| | | ● ご案内..... | 22 |

— 歯科医師の倫理綱領 —

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

- 一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。
- 一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。
- 一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人 日本歯科医師会

表紙に寄せて

◇目には青葉～新緑は目に映えるだけでなく、放出するフィトンチッド（BVOC）により心身に清々しさをもたらします。全世界のBVOC放出量は年間10億トン以上で、排ガス等の人為的なVOC排出量の10倍に達するそうです。更に人体に対しNK細胞や大脳皮質の活性化、抗酸化作用等多大な効果があるとのこと。

◇山ほととぎす～そう考えると森林浴は単なるリラクゼーションではなく「治療」の域！実際ヒノキチオールは「ヒノポロン」として大変身近な所で活用されていますし、変なサプリや続かない運動なんかに頼ってる場合じゃないかもしれません。漱石のいう「森の都」に住んでいるのは僥倖。

◇初鰯～日本酒に使われる杉樽は木の成分（セキリンC等）がお酒の中にそのまま溶出し老化防止に役立つそうです！

無機物（土）から有機物（地球循環）を造り出す植物ってスゴイ！

(N・A)



地域で支える歯科医療をめざして



理事 立山 徹也

この度、地域包括ケア担当理事を拝命いたしました立山徹也です。どうぞよろしくお願いたします。

いわゆる「2025年問題」により団塊の世代が後期高齢者となり、地域医療の需要はこれまで以上に高まっています。さらにその先には、現役世代の減少と高齢者人口のピークを迎える「2040年問題」も控えており、歯科医療を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。加えて、歯科医師の偏在や過疎化に伴う医療格差、さらには歯科医師の高齢化によるマンパワー不足も課題となっており、「地域の方々の健康をどのように支え続けていくか」という課題は、ますます重さと厳しさを増しているように感じます。

現在、熊本県歯科医師会では在宅歯科医療連携室を設置し、訪問診療の相談対応や調整、関係職種との情報共有を行っております。地域の中で歯科医療を必要とされる方へ適切につながり窓口として、日々の診療の中でご活用いただければ幸いです。

また、在宅歯科医療を支える取り組みとして、歯科医療従事者を対象とした在宅歯科医療研修会や、栄養士会との連携によるモデル地域研修会を実施しております。昨年度は菊池郡市において三師会による講演等も行われ、地域における連携の充実が図られました。

さらに、口腔ケアを支えてくださる他職種の方々に向けて、口腔への理解とケアの質の向上を目的とした介護者歯科実技研修会を開催し、連携の強化に努めております。在宅歯科医療各郡市担当者会では、各地域の取り組みに関する意見交換を行うとともに、熊本県認知症対策・地域ケア推進課にもご出席いただき、現状や課題について共有する機会となりました。

住民向けの取り組みとしては、「カムカム健康プログラム」を参考に、よく噛んで食べることを通じた口腔の健康維持とフレイル予防の普及に向けた活動を、次年度に向けて進めております。

また今年度は、在宅歯科医療連携啓発イベントを企画しております。本イベントでは、在宅歯科医療を中心に、多職種による口腔への関わりについて、県民の皆様幅広く周知していくことを目的としています。

このほかにも、後期高齢者口腔健診の推進や、新聞・ラジオ等を通じた情報発信など、活動は多岐にわたっております。これらの取り組みを通じて、在宅歯科医療と連携室の機能をさらに充実させ、地域包括ケアシステムの構築に寄与して参りたいと考えております。

誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし、最期までお口から食べ、笑顔で過ごせる社会の実現に向けて、会員の皆様とともに一歩ずつ取り組んで参りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



様々な課題解決に向けて

— 令和7年度 第2回臨時代議員会 —



3月21日(土)午後3時より、県歯会館において、渡辺議長・河原副議長他50代議員（予備代議員含む）、牛島会長他全役員、神山・永松監事出席のもと開催された。

1. 開会：椿副会長

2. 議事録署名人指名：

飯田誠治代議員（熊本市）、
井上真樹代議員（水俣・芦北郡市）



3. 物故会員に対する黙祷：

永田博久先生（熊本市）、河上正先生（熊本市）、
出来田悌吾先生（水俣・芦北郡市）、神戸威先生（上益城郡）、
谷川元雄先生（八代）

4. 挨拶：牛島会長

代議員の先生方におかれましては、年度末のご多忙の中、本日の代議員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。さて、熊本地震から10年を迎えます。当時、私たちは災害時における歯科支援の重要性を身をもって学びました。その経験が広く共有され、現在では活動体制も整い、支援が行いやすい環境が構築されつつあります。全国各地で災害が発生している現状を踏まえ、熊本県としても万が一に備えた体制整備をさらに進めてまいりたいと考えております。また、昨年末には令和8年度の診療報酬改定が決定されました。3%を超える改定は約30年ぶりとなりますが、その多くは賃上げや物価高騰への対



応であり、歯科技術料については依然として厳しい内容となっています。その中で、ベースアップ評価料については、まだ届出を行っていない医療機関も見受けられます。本評価料を適切に算定することで、初・再診料にも影響し、将来的な評価にもつながりますので、ぜひ積極的な届出と算定をお願いしたいと思います。さらに、日歯においては、金パラの高騰を受け、いわゆる「脱金パラ」の方向性が示されており、今回の改定でもCAD/CAMの適用拡大が進められています。その他、グローブや麻酔薬の供給不安についても、国に対して要望を行っているところです。現場からのご意見を幅広くお寄せいただければ幸いです。また、経済産業省では「ものづくり補助金」を活用し、IOSやミリングマシン等の導入費用の支援が検討されています。

子どもの健康づくりに関しては、フッ化物洗口の普及が課題となる中、市町村の取り組みを後押しする予算が確保されましたので、各郡市より市町村へ働きかけをお願いいたします。本県の会員数は何とか維持しているものの、診療所数は減少傾向にあります。地域歯科医療体制の充実に向け、私たちとしても引き続き積極的に関わっていく所存です。

5. 来賓挨拶：熊本県健康福祉部

篠田誠健康局長



6. 会員表彰：

熊本市：奥田洋実会員、
清川恵治会員、有吉洋会員、
井尾治雄会員、田ノ上輝会員、
富永祐司会員、木村浩幸会員、
萱野至仁会員、篠原威雄会員、
岩本雅生会員、角岡秀昭会員、
河野生司会員

玉名郡市：春野唯一会員

荒尾市：田中正会員

菊池郡市：中村悟会員、
金田哲也会員

上益城郡：玉置孝信会員

下益城郡：渡辺賢治会員

水俣・芦北郡市：鬼塚友文会員

人吉球磨：秋山雅治会員、
塚本卓也会員

天草郡市：山本源治会員、中嶋敬介会員、
生田凶南会員、荒木浩一会員

このうち、出席された2人へ賞状及び記念品が牛島会長より贈呈された。さらに代表して奥田会員から謝辞が述べられた。



7. 報告：

- (1) 日歯代議員会報告（樁日歯代議員）
- (2) 会務報告（宇治専務理事）
- (3) 会計報告（宇治専務理事）
- (4) 監査報告（神山・永松監事）



8. 議事：

- 第1号議案 令和7年度熊本県歯科医師会
会計収支補正予算書（案）の
承認を求める件
- 第2号議案 令和8年度熊本県歯科医師会
事業計画（案）の承認を求め
る件
- 第3号議案 令和8年度熊本県歯科医師会
会費及び負担金の賦課額、賦
課率並びにその徴収方法（案）
の承認を求める件
- 第4号議案 隣接土地購入並びに購入に伴
う積立金取崩の承認を求める
件

第5号議案 令和8年度熊本県歯科医師会
会計収支予算書（案）の承認
を求める件

以上すべての議案は承認可決された。

9. 事前質問・要望：

・（人吉球磨・向江予備代議員）

診療報酬改定について

[執行部回答]

保険点数改定をめぐる状況は依然として厳しく、日歯および連盟は、適正な評価に向けて全力で取り組んでいます。一方で、戦争や物価高騰の影響により、医療材料費などの負担は増加し、先行きは不透明です。国民皆保険という基盤はあるものの、他力に頼るだけでなく、歯科業界として主体的に将来を考える必要があります。歯科医院の収入が向上しなければ、歯科衛生士や歯科技工士の処遇改善にもつながりません。持続可能な歯科医療体制のために、業界全体での取り組みが求められています。

・（天草郡市・青砥代議員）

口腔衛生管理加算の算定について

[執行部回答]

口腔衛生管理加算については、医療機関への所属に関する規定がないため、閉院後であっても同一の歯科医師が継続して関与することが可能です。一方、口腔連携強化加算については、歯科訪問診療料の算定実績を有する歯科医療機関に所属する歯科医師であることが要件とされています。このため、閉院後は当該加算に関与することはできません。

・（天草郡市・青砥代議員）

診療所の歯科医師と配偶者2人体制のベースアップ評価の届け出について

[執行部回答]

条件はありますが、奥様と2人の場合でも算定は可能です。条件は、経営者でない事、法人の場合は役職についていない事になります。

10. 協議：

- (1) 県歯科医師会館の管理について
- (2) 時局対策
- (3) その他
 - ・国債・県債の運用について



11. 閉会：大林副会長

（広報 平島 将臣、田中 秀幸）



「逆境の中にこそ夢がある」

— 第11回理事会 —

3月10日(火)午後7時30分より、県歯会館において、牛島会長他全役員、神山・永松監事の出席のもと開催された。

1. 開会：椿副会長
2. 挨拶：牛島会長

年度末を迎え、各所管の業務が大詰めとなりますが、最後までよろしくお願い申し上げます。

先日、蒲島前知事の旭日大綬章受章祝賀会が開催され、政財界から多くの方々が集まりました。蒲島氏は、鹿本郡の貧困家庭で育ち、農協職員を経て東京大学法学部の教授に就任された経歴を持ち、著書「逆境の中にこそ夢がある」にも生い立ちが綴られています。教授時代、自民党県連の前川会長（当時幹事長）の懇請を受けて熊本県知事選に出馬され、当選されました。その後のご活躍は周知の通り、くまモンの誕生、熊本地震からの「創造的復興」を掲げて復興を成し遂げられました。また、TSMCの誘致など、他県からも羨まれる熊本県を築き上げた功績は多大です。

「逆境の中にこそ夢がある」我々歯科界もまた、逆境の中にあります。物価高騰や金パラ問題、人材不足、歯科医師の高齢化、DXへの対応など、多くの逆境に直面しています。将来への明るい兆しが見えなければ、若者が歯科界に夢を持つことはできません。将来に夢を持つための方策をずっと考えております。歯科の重要性は県民に広く認められていますが、かつてコンビニより多いと言われた歯科医院数は減少に転じ、歯科衛生士の就労者数も不足しています。しかし、この必要不可欠な存在だからこそ、その「希少性」「価値」の高さを逆手に取り、改めて歯科界の魅力をアピールしていくことも一つの道であり、役員の方の若い柔軟な発想からヒントをいただきながら考えていきたいと思っております。



3. 議長選出：牛島会長
4. 議事録署名人：神山・永松監事、牛島会長
5. 会務報告：(自：2月20日～至：3月5日)
 本会総務：九地連協議会、理事会、常務理事会
 学 術：都道府県学術担当理事連絡協議会
 社会保険：社会保険委員会
 地域包括ケア：在宅歯科医療各郡市担当者会
 (Web)、がん患者医科歯科
 連携事業研修会 (Web)、第
 16回県医療・保険・福祉連携
 学会
 医療対策：医療相談・苦情対応
 学 院：入学試験、第35回歯科衛生士国家
 試験
 以上、各担当役員より報告がなされた。

6. 報告事項：
 1. 退会会員について
 2. 会員名簿の電子化について
 3. 令和8年度会報・ニュースレター発送
 予定日について
 4. 事業実施報告書について
 ・歯科衛生士確保対策事業 復職支援研
 修会
 5. 2月末会計現況について
7. 連絡事項：
 1. 4月行事予定について

8. 承認事項：

1. 関係機関・団体からの役員等の推薦依頼について

・熊本県PTA共済審査委員会専門歯科医師／一財）熊本県PTA教育振興財団

【承認】推薦：上野啓之 地域保健学校歯科委員会委員（任期：令和8年4月1日～令和9年3月31日）

2. 後援名義使用依頼について

【承認】「文化講演会／宇城」第9回講演会／文化講演会／宇城

9. 議題：

1. 令和7年度第2回臨時代議員会事前質問について

【可決】審議の結果、臨時代議員会への3題の事前質問に対し、回答者および回答内容案を可決した。

2. 令和8年度定時代議員会開催までのスケジュールについて

【可決】審議の結果、定時代議員会を6月27日（土）午後3時から開催とし、関連スケジュールを原案通り可決した。

3. 一般社団法人熊本県歯科医師会コンプライアンス推進に関する規程（案）について

【可決】審議の結果、原案通り可決した。4月1日付けで「コンプライアンス推進室」を設置することとした。

4. 一般社団法人熊本県歯科医師会公式SNS運用規程の一部改正（案）について

【可決】審議の結果、原案通り可決した。公式Instagramの立ち上げについて今後検討を進めることとした。

5. 業務災害総合保険の更新について

【可決】審議の結果、前年同様プランでの更新を可決した。

6. （再）エフエム熊本「歯とお口の情報発信コーナー」について

【可決】審議の結果、4月から3ヶ月間放送する内容を原案通り可決した。

7. 口腔保健センター・レセコンのリースについて

【可決】レセコンのリース満了に伴う更新内容を可決した。なお、提案のあった

音声入力システムについては、音声識別の誤認リスクや費用対効果の面から継続検討とした。

10. 監事講評：

神山監事「昨今の国際情勢の不安定化に伴う原油価格の高騰が、歯科材料に多大な影響を及ぼしています。具体的には、石油系材料であるコンポジットレジンやボンディング材、プラスチック系材料では義歯床用レジン、仮歯用レジン、マウスピース、デンタルシリンジ、ディスプレイ製品など多岐にわたります。特にグローブは、患者さんごとに交換・廃棄が必要な消耗品でありながら、石油製品として最も影響を受けている状況です。さらに、シリコーン印象材なども原油高騰の波にさらされています。本日のニュースでは、トランプ大統領が早期決着の意向を示したことで原油先物価格が下落しましたが、今後再び高騰する可能性は十分にあります。市場では買い占めの動きも見られるため、皆様におかれましては日々の情勢を注視し、材料の確保や在庫管理に十分留意していただきたいと思います。」

永松監事「デンタルスマイルプロジェクトについてですが、今後の反響次第では、情報発信の一環として公開市民講座などを開催してはいかがでしょうか。かつて歯科技工士の青春を描いた映画「笑顔の向こう側」は国際映画祭でグランプリを受賞するなど高い評価を得ましたが、一般県民への普及や啓発という面では更なる展開の余地を残しました。自己満足に留まることなく、県民の皆様に情報がしっかりと伝わるような講座を企画すべきだと考えます。また、国民皆歯科健診の進捗状況が不透明な部分もあります。取り組みの情報を適切に提供し、県民の皆様理解を深めていただくことこそが、事業を推進していくための有効な手段ではないでしょうか。」

11. 閉会：大林副会長

（広報 秋山 清）



持続可能な学校歯科保健活動の推進に向けて

— 各郡市学校歯科担当者会議 —

地域保健学校歯科

3月11日(水)、県歯会館4階ホールにおいて、本委員会業務の一環として標記会議が開催された。本会議は年1回開催され、学校歯科保健活動に関する現状の共有と課題の検討を目的としている。

当日は、県健康づくり推進課職員をはじめ、各郡市の学校歯科担当歯科医師、各自治体教育委員会関係者などが参加した。現地参加は約40人、さらにWeb参加として45部署が加わり、今回の会議は過去最大規模での開催となった。学校歯科保健活動の推進には、歯科医師会、行政、教育現場がそれぞれの立場から連携して取り組むことの重要性が改めて認識された。

会議ではまず、歯科保健活動実態状況調査および小中学校におけるフッ化物洗口の実施状況について、高田理事より報告がなされた。報告では県内の実施状況とともに、現場から挙げられている課題が共有された。近年の働き方改革や自治体の予算削減の影響により、学校現場では人員不足や業務負担の集中などが生じており、フッ化物洗口の実施においても人的・時間的なリソース不足が課題として挙げられた。また、薬剤の保管や取り扱いなどの管理面においても現場の負担が指摘された。

これらの課題に対し行政側からは、フッ化物洗口のモデル事業や次年度の取り組みについて説明が行われた。フッ化物薬剤の安全性に関する情報提供や、学校現場の負担軽減に向けた取り組みについて報告があり、事業推進における今後の方向性が示された。

協議および質疑応答では、現在多くの学校で使用されている粉末タイプのフッ化物は、計量や溶解など準備作業の手間が生じることが現場負担の一因となっているとの意見が挙げられた。これに対し、あらかじめ調製された溶液タイプの導入は作業工程を簡略化でき、学校現場の負担軽減につながる可能性が示された。また準備作業の簡素化は、地域ボランティア等の参画のハードルを下げることもつながると考えられるとの意見もあった。ボランティア参画については、その管理体制や運営主体についても議論が行われ、行政側からは人材配置への助成支援を推進していることが説明された。

今回の会議を通じ、フッ化物洗口を含む学校歯科保健活動の推進には、主体となる学校現場を中心に、学校歯科医、行政、教育現場が相互に連携し、地域や学校規模に応じた支援体制を構築していくことの重要性が改めて確認された。今後も関係機関が協力しながら、持続可能な学校歯科保健活動の推進が求められる。



ハイブリッド式で開催され、活発な意見交換が行われた

(松田 智也)



安心・安全な歯科診療につなげるため

— 医療対策講演会 —

医療対策

3月29日(日)午前10時より、標記講演会が県歯会館およびWeb配信によるハイブリッド形式で開催された。参加者は来館21人、Web参加53人、合計74人であった。牛島会長の挨拶の後、医療法人社団碧生会まつばら歯科口腔外科こども歯科理事長であり、医療対策担当理事でもある松原良太先生による講演が行われた。



「医療対策委員会とは？」を伝える牛島会長

日常臨床において、歯科・口腔外科診療は患者さんに精神的・身体的侵襲を与えることが多く、さらに局所麻酔下での治療も多いため、治療時に全身的偶発症が生じる可能性は決して低くない。全身的偶発症は時に重篤で、致命的となることもあるため、発生時には直ちに診療を中断し、迅速かつ適切に対応しなければならない。また近年は、抜歯やインプラント埋入に伴う下歯槽神経麻痺や舌神経麻痺などの局所的偶発症に起因する医療事故相談、医療トラブル相談も多く寄せられており、トラブルや賠償請求を未然に防ぐためにも、初期対応の重要性が高まっている。

講演では、

① バイタルサイン

基本的な知識、モニタリングの方法、ならびにモニタリングが必要な全身疾患について

② 歯科診療時の全身的偶発症

血管迷走神経反射、過換気症候群、アナフィラキシーショック、局所麻酔中毒、血管収縮薬過剰反応の鑑別方法と対処法について

③ 心肺蘇生法とAEDの使用法

心肺蘇生法およびAED使用に関する基本的知識について

④ 救急車要請時の心構え

必要な場合は救急車要請をためらわず、常に患者さんを救うことを第一に考えて行動することの重要性について

⑤ 歯科診療時の局所的偶発症

補綴装置・歯科材料の誤飲・誤嚥、術中・術後出血、上顎洞穿孔、異物迷入、神経麻痺、神経損傷、気腫、顎関節脱臼などについて



明日からの診療に役立てられるように

口腔外科専門医としての臨床の実際に加え、県歯医療対策委員会理事としての経験を踏まえ、実際の症例や医事紛争事例も交えながら、日常診療に即した内容をわかりやすくご講演いただいた。誰もが偶発症や医療事故、医療トラブルを起こしたわけではない。しかし、万一起こった際には、適切な対応と適切な説明を行うことが医療従事者の使命である。本講演の内容を日々の診療に役立てていただき、安心・安全な歯科診療につなげていただければと思う。最後に宇治専務理事より閉会の言葉をいただき、盛会のうちに閉会となった。



日曜日の午前中であつたが多くの参加者が学んだ

(河野 宏和)

下益城郡歯科医師会

渡辺会員の受章を讃えて。笑顔で迎えた新年の門出

— 新年会 —

1月22日(木)、松橋町の料亭吉田にて標記会を開催し、会員14人の参加のもと、和やかな雰囲気の中で新年の門出を祝った。

本年の新年会は、令和7年秋の叙勲において**旭日双光章(保健衛生功労)**を受章された渡辺賢治会員の祝賀会も兼ねた、大変おめでたい席となった。渡辺会員は令和7年11月28日に勲章・勲記伝達式に臨まれ、天皇陛下に拝謁されている。

渡辺会員はこれまで、県歯ならびに下益城郡歯会において長年にわたり役員を歴任され、団体組織の強化に尽力されるとともに、指導的立場から会員の範として組織を統率し、歯科医師会の基盤確立と事業推進に多大な貢献をされてきた。



叙勲の榮譽、溢れる笑顔とともに

さらに、美里町をはじめ熊本県下における歯科保健医療の充実と口腔衛生の普及向上に尽力され、地域歯科医療の発展に大きく寄与されてこられた。特に美里町の歯科医師として、行政と連携しながら広範な歯科保健衛生活動を積極的に推進し、地域住民の口腔衛生の予防および向上に長年貢献されている功績が高く評価され、この度の榮譽ある受章となった。

当日は、先生のこれまでの功績を称え、参加者一同より祝意と敬意が表され、終始和やかで温かな祝賀のひとつとなった。

また本年は新入会員も加わり、支部として新たな仲間を迎えての明るいスタートとなった。今後も会員相互の連携を深めながら、地域歯科医療の発展と住民の口腔と全身の健康の向上に努めていく決意を新たにす有意義な新年会となった。



晴れやかに、令和8年の幕開け

(田染 直子)

宇土郡市歯科医師会

議案はすべて承認された

— 通常総会 —

3月7日(土)午後4時より、宇土市「くま井」にて標記会が開催された。昨年5月に、66歳で逝去された田中栄一先生への黙祷の後、会務、県歯臨時代議員会報告、県歯国保組合・各種委員会、令和7年度事業報告が行われた。

【議事】

- 第1号議案 令和7年度収支決算（案）に関する件・監査報告
- 第2号議案 令和8年度事業計画（案）に関する件
- 第3号議案 令和8年度予算（案）に関する件
上記全案は可決承認された。
- 総会后、引き続き「くま井」にて懇親会が行われた。



事業報告と議事の審議が行われた

(村田 和子)



令和8年度 クールビズ実施のお知らせ

本会では、夏場に向けて節電対策並びに地球温暖化防止の一環として、今年度もクールビズを実施いたします。

実施期間は令和8年5月1日より同年10月末日までとさせていただきます。
本趣旨をご理解くださり、ご協力賜わりますようお願い致します。

令和8年5月1日

熊本県歯科医師会

荒尾市・玉名郡市歯科医師会

本講演を契機に口腔機能低下症を日常診療に取り入れる

— 荒尾・玉名学術講演会 —

3月14日(土)午後3時より玉名市民会館にて、「口腔機能低下症と義歯治療とリハビリテーション」の演題で、講師に公立八女総合病院歯科口腔外科(補綴担当)の鈴木宏樹先生をお招きし、標記講演会が開催された。

現在、口腔機能低下症を算定している歯科医院は全体の約1割にとどまっており、よく分からない、検査が煩雑である、採算が取れるのか分からない、新しいことに取り組む時間がないなどの理由から、約9割の歯科医院がまだ取り組んでいないのが現状である。しかし国(厚労省)としては積極的な導入を推進しており、6月からの点数改定では大幅な点数アップが見込まれるとのことであった。そこで今回、口腔機能低下症の理解を深め、導入のきっかけとなることを目的として本講演会が企画された。

口腔機能低下症と診断するためには、口腔機能精密検査として「口腔不潔」「口腔乾燥」「咬合力」「舌口唇運動」「舌圧」「咀嚼機能」「嚥下機能」7項目の検査を行い、そのうち3項目以上で機能低下が認められる場合に診断される。講演ではこれら7項目の検査について、それぞれの評価方法や臨床でのポイントを含め、分か

りやすく解説していただいた。なお、2項目以下の場合は検査料のみの算定となり、また3か月ごとに再検査が可能であるとのことであった。さらに、口腔機能低下症の原因や、症状改善を目的としたリハビリテーションについても、実際の患者さんのスライドを見ながら、具体的な解説がなされた。

口腔機能低下症は高齢化が進む中で、今後ますます重要となる分野であり、日常診療に取り入れる必要性を強く感じる講演会であった。



口腔機能低下症を深く理解することができた

(永廣 有伸)



菊池郡市歯科医師会

賛成多数により承認可決された

— 通常総会 —

3月26日(木)午後7時30分より、菊池郡市歯会館にて標記会が行われた。

園木副会長による開会挨拶後、議長に阿久根秀典会員、副議長に荒木公一会員を選出し、城会長の挨拶で開始された。

【議事】

- ・令和8年度事業計画(案)の承認を求める件
- ・令和8年度歳入歳出予算(案)の承認を求める件

以上について、賛成多数により承認可決された。また、理事定数の変更について協議が行われた。

その後、高木会員より企業健診の依頼が各医院にあった場合の対応をどうするかとの提案があり、会員間で対応方法を確認した。その他、補助金、助成金等の情報共有も行われた。

充実した議論の中で、事業計画、予算が無事に承認され、令和8年度スタートの準備を整えることが出来た。



新年度スタートに向けて充実した議論が行われた

(工藤 謙太郎)

報 告

熊本県歯科医師会アンバサダー委嘱状伝達式

4月17日(金)県歯会館にて標記伝達式を行った。

牛島会長より委嘱状が伝達され、椿常務理事、広報委員会委員が見守る中、アンバサダーの制服を身に纏った金子帆南さんが挨拶された。「歯っぴー健口アンバサダー」としてこれから歯科の重要性を明るく爽やかなイメージでPRしていきたいと意気込みを語られた。

今後は歯の祭典、笑顔ヘルCキャンペーンなどのイベント参加や、SNSの発信、歯科啓発に関わるポスターなどに携わっていただく予定である。

(理事 秋山 清)



伝達式にて笑顔を見せるアンバサダーの金子さん。今後の活躍に期待。

水俣・芦北郡市歯科医師会

新年度のスタート

— 令和7年度通常総会 —

4月4日(土)午後5時より、水俣市あらせ会館にて標記会が行われた。

永田副会長による開会挨拶後、議長に藤崎圭一会員が指名され、総会が進行された。

故・出来田悌吾先生(2月17日逝去)へ黙祷を捧げた後、井上会長の挨拶で開始された。

会務報告(若江専務理事)、会計決算報告・監査報告(伊藤常務理事、野村監事)、来年度の事業計画、予算案が賛成多数により可決された。



鬼塚会員の長年の功績を称えて

長年に渡り、歯科医師会に貢献した鬼塚友文会員が終身会員になられたお祝いを行い、永田副会長の閉会の言葉で終了となった。

総会終了後は懇親会が開催され、楽しい時間を過ごした。



新年度の幕開け

(鶴野 剛士)

報告

県庁行政棟掲出ポスター視察

4月10日(金)に昨年より掲出している対外PRポスターを、永江事務局長ら同行で視察してきた。県庁本館地下1階の大会議室前の大きな柱に貼られており、会議室利用者やエレベーター利用者の目にも留まりやすい場所であった。

蒲島前知事の時代に制定された「熊本県歯及び口腔の健康づくり推進条例」を木村知事も継続して進めておられ、県庁職員の方々も率先して歯科健診に行かれるとのことである。

来庁される県民の皆さんにも、広く浸透して欲しいものである。

今後、アンバサダーを起用した新たなデザインのパスター掲出を予定している。

(理事 秋山 清)



A0版の大きなポスターである
(841mm×1189mm)



全議案が可決承認

— 令和7年度熊本県歯科医師国民健康保険組合 通常組合会 —

3月7日(土)午後4時より、県歯会館にて標記会議が開催された。総議員30人中27人が出席し、上野副理事長より会議の成立が宣言された。次に大塚議員(熊本市)が議長に、浦田議員(天草)が副議長に選出され議事が進行された。

— 牛島理事長挨拶 —

皆様こんにちは。昨年8月1日に理事長に就任しました牛島です。本日はお忙しいところお集まり下さりありがとうございます。任期は令和9年7月末までになります。

現在、全国には158の国保組合がありますが、その殆どが組合員の高齢化や医療費の増大により運営が年々難しくなって来ています。今、本組合は何とか運営しておりますが、やはり厳しい状況です。

今年は診療報酬改定もありプラス3.09%の改定率となっており、医療機関側にとっては大変助かる事ですが、その反面組合側からすると医療費増加で負担が増える事でもあるので、そういった面も考慮して取り組んで行かねばなりません。

また昨年は高額医療のレセプトが出て来ました。1回限り使用の癌治療薬ですが、1枚のレセプトで36,703,830円という額になります。我々のような弱小の組合では、こういったレセプトが出てくると一発で運営が危機に陥ります。そういった事も念頭に置いて、安定的に運用して行けるように様々な努力をしていく必要があります。

そういう状況の中で厚生労働省からは色々な施策も出ています。例えば健康づくりという観点から、被保険者が病気にならないように様々な取り組みを行った組合に対してインセンティブを与えるという制度です。本組合もこれまで以上にこういった制度を利用して、被保険者の健康づくりや組合の安定した運営に尽力して行こうと思っておりますので、先生方のご理解とご協力またご指導を宜しくお願い致します。

次に前役員へ感謝状贈呈と九州地区歯科医師国民健康保険組合連合会表彰であったが該当される伊藤明彦前理事長、桑田和明前監事ともに欠席であった。

また議事録署名人に西議員(熊本市)と高水間議員(山鹿市)が指名され、2人の物故者に全員で黙祷が捧げられた。

続いて上野副理事長、宇治常務理事より会務報告・業務報告がなされ守永監事より監査

報告があり適正に処理されている旨報告があった。

また自家診療に関する保険給付規程の一部改正について、宇治常務理事より報告・説明があった。

続いて議題に移った。

第1号議案 令和7年度熊本県歯科医師国民健康保険組合歳入歳出補正予算(案)の承認について

第2号議案 熊本県歯科医師国民健康保険組合規約一部改正(案)の承認について

第3号議案 令和8年度熊本県歯科医師国民健康保険組合事業計画(案)の承認について

第4号議案 令和8年度熊本県歯科医師国民健康保険組合歳入歳出予算(案)の承認について

第5号議案 令和8年度熊本県歯科医師国民健康保険組合役職員退職手当積立金特別会計歳入歳出予算(案)の承認について

第6号議案 令和8年度熊本県歯科医師国民健康保険組合一時借入金について

第7号議案 備品の廃棄処分について

以上の7議案について、全員賛成で可決承認された。

次に協議に移り、組合の現状と見通しについて、今後は高額医療費・高額治療薬に対する備えが必要である旨、上野副理事長より説明があった。

最後は宮本理事の閉会の挨拶で散会となった。



出席議員へ挨拶をされる牛島理事長

(宮本 名留彦)

口腔保健センター新聞

第9号



外来では、障がいをお持ちの方の歯科診療を行っています！ ※休日診療はやっていません×

診療案内	月	火	水	木	金	土	日 祝日
外来診療	★	10:00~13:00 14:00~17:00	休	10:00~13:00 14:00~17:00	10:00~13:00 ◎	10:00~13:00 14:00~17:00	休
IV-s 診療 【日帰り】		●		●			

※設備の都合上、全身麻酔は行えません🙏

★月曜：訪問診療（障がい児・者）

◎金曜午後：診療トレーニング

IV-s（静脈内鎮静法）：午前は【処置中心】、午後は【P管理】にて診療しています🎵

令和7年度 口腔保健センター登録歯科医制度研修会・ 障がい児（者）口腔ケア事業を開催しました

3月8日（日）に県歯会館およびWebにて標記研修会を開催した。歯科医師だけでなく、歯科衛生士や受付職員など多職種から会場37人、Web35人が参加した。

牛島県歯会長の開会の挨拶ののち、講師に一般社団法人ゆこり代表理事であり言語聴覚士の下田祐輝先生をお招きし、「地域生活を支える、発達障がい児・者の理解と配慮」の演題でご講演いただいた。



講師 下田祐輝 先生

まず、子育てにおいては「子どもの育ち」は「親の育てる力」に支えられ、「親の子育て」は「子どもの育つ力」に支えられることを説明された。障がい児・者の家族は、失敗の連鎖により子どもの育ちにくさを感じ、子育てへの自信を失いやすい。そのため、「よくここまで育ててくれましたね」などの労いの言葉を起点に、成長の事実を可視化・言語化したうえで具体的な支援や工夫を提示し、負のサイクルを断つことが重要であると話された。

カップラーメンを作って食べることを例に、私たちが日常的に行っている「蓋の開け口を探す」「つまんで蓋をはがす」「3分待つ」といった動作は、想像力と記憶力（現在から未来の見通しを含む）が連動している状態であると説明された。発達障がいのある人はこの一部に苦手さがあるため、周囲からは「困った子」と捉えられがちである。しかし視点を変えると、本人が「困っている」状態であり、行動には必ずその人なりの理由や考えがある。何に躓いているのかを相手の立場に立って理解し、支援の道筋を立てることが大切

であると解説された。

自閉スペクトラム症を例に、認知の特徴と支援方法について具体的な説明があった。自閉スペクトラム症の人は暗黙的学習が弱く、一般常識のような暗黙のルールを理解や、同じ動作でも人・場所・素材が変わると学んだスキルを応用することが難しい場合が多い。一方で視覚情報の処理に強みがあるとされている。その理由として、健常者は言語で示されたカレーの調理手順を頭の中で映像化して理解するのに対し、自閉スペクトラム症の人は言語情報を映像化する処理が苦手であり、最初から視覚化された情報のほうがスムーズに理解できることが挙げられた。このため、明示的学習が有効であると説明された。

明示的理解を促すためには、不要な情報を省き、見せたい情報を明確に提示すること、また開始から終了までの流れを把握できるようにすることが重要である。終了は伝えやすい一方、開始は日付や時間など認識に個人差があるため、カレンダーで現在日と受診日を示したり、時計の針の位置で呼ばれるタイミングを示したりするなど、視覚的に理解できる工夫が有効である。さらに、5W1Hを明示し繰り返し学習することで理解を促進できる。

また、自閉スペクトラム症の患者の中には、処置内容を個々の動作としてではなく、動画や写真など全体のイメージとして記憶して理解する場合もある。そのため、人や場所の変化への応用が難しい患者には、当日の環境に合わせて処置ユニットやスタッフを調整することで、よりスムーズな行動につながるなどの助言があった。

五感の過敏・鈍感に応じて、イヤーマフの使用やスクイズを握るなど感覚刺激を調整し、安心感と集中力を支えることも重要である。支援は初期には手厚く行い、学習の進行を確認しながら徐々にフェードアウトすることで、応用力の育成にもつながるとされた。

障がいのある患者はそれぞれ異なる困りごとを抱えているため、その原因を探りながら個別に対応していくことが重要である。小さな成功体験（スモールステップ）を段階的な目標として診療プロトコルに組み込むことで、患者本人および家族が歯科受診を肯定的に捉えられるようになる。

今回の講義は、発達障がいのある患者へのより丁寧な寄り添い方や、家族への称賛によるモチベーション支援について、診療のあり方を見つめ直す貴重な機会となった。今後の診療に大いに役立つ内容であった。

(口腔保健センター 川島 みなみ)



講師の下田先生を囲んで集合写真

Legend

～伝説のささやき～

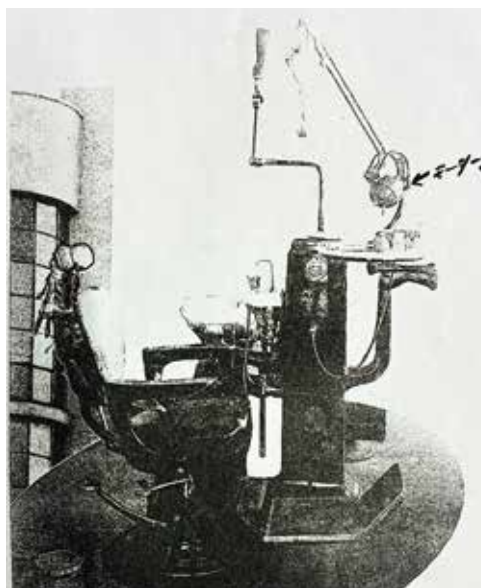
戦前、戦中、戦後、今年は昭和101年

人吉市 竹田 豊子 (那須)

昭和32年、大阪歯科大学を卒業し国家試験に無事合格、人吉に帰郷。父と共に診療開始。大阪と人吉の大差に驚き、水道がない、ガスがない。うがい用のコップには、ヤカンから水を注ぎ、形成時には注射器からポタポタと水を落とし、綿球で吸水する始末。電気エンジンは15,000回転位の3段式滑車ベルト。火の使用はアルコールランプです。咬合面バンドの溶接によるサンブラ冠、いわゆるバケツ冠はエリートセメントとの相性は良く、30年後に外しても歯頸部う蝕はありませんでした。人吉に10軒ほどある歯科医院の中でも、レントゲンがあるのは当時の公立病院とあと一軒なので、実家に戻る条件としてレントゲンを入れて貰いました。昭和31年頃、人吉市に水道導入。昭和35年頃ようやく実家の町内にも水道工事が始まり、1番に工事を入れました。「水を金で買うのか」と言われましたが、診療椅子の使えなかった給水排唾が



圧迫キャストを私も昭和40年まで使用した



在学中の治療イス、三段ベルト滑車のハンドピース (昭和30～32年頃)

使用可能になり、タービン (単品) を人吉で1番目に導入し、女性でも歯頸部まで形成が楽にできるようになりました。ハンドピースから水と光が出るのは、それからさらに先です。印象はモデリングコンパウンドをお湯で温めトレーに盛り、形を取り石膏を入れる。固まった石膏を外す時も、お湯で温めて柔らかくし外し、モデリングは水洗いしてから再利用。今では感染の観点から、ぞっといたします。その後アルギン酸印象材に移行、昭和35年頃から使い始めたと思います。鑄造もガソリタンク、小さな穴に足踏み送風機で風を送り、ガス化させ、ブローパイプでキャスト、その後プロパンガスが入ってきて技工も楽になりました。昭和40年6月に同窓の弟、那須智治 (故人) が帰郷。弟に引き継ぎをし、実家を離れ、昭和50年再び人吉に

戻り、現在地に住居を構えました。昔と変わらない10軒ほどの地元歯科医院に対し、患者数は最高に多い時で弟からすぐに手伝いを頼まれました。離職していた10年で機械は進化、タービンがチェアの中に。昭和40年代には超音波スケーラーが発売。立位診療から水平ユニットの水平位診療へ。2年ほど手伝い感覚を取り戻した頃、昭和



喜寿で、金婚式の弟、智治と、私86才

52年9月に現在地で開業。歯科医を始めた頃から20年後の違いを、しみじみと噛み締めました。平成26年にはお湯が出るスケーラーができ、冬場や知覚過敏の患者さんからは、とても喜ばれました。そして知らぬ間に、熊本県下で女性最高齢の現役歯科医師に。レントゲンもデジタル化を考えた時もありましたが、閉院する最後までアナログを使用し続けました。開業後、間もないころでした。レントゲンの暗室での手現像から昭和55年に注射器による現像液注入のインスタントフィルムが発売され、さらに昭和58年にはプッシャー式で直接注入する方法へ。現在もまだあるそうです。キャストは1907年(明治40年)にインレー体がシカゴの歯科医師により作られ、歯科治療が劇的に変革。平成24年の大阪歯科大刊行本に昭和14～5年頃の技工実習の写真があり、目に止まりました。私も昭和40年まで使用していました。40年後半頃、遠心・吸引鑄造機に代わって行きました。令和6年4月30日(92才)で閉院。あっという間の(再開業の)47年、戦後に原始的な機械を使って苦勞しながら診療してきた、最後の世代の歯科医師だったかもしれません。



閉院後、大学同窓会にて挨拶



令和8年度 定時代議員会 開催のお知らせ

下記の通り令和8年度定時代議員会を開催いたしますのでお知らせします。
記

日時：令和8年6月27日(土) 午後3時～
会場：熊本県歯科医師会館 4階ホール

[議 事]

第1号議案 令和7年度一般社団法人熊本県歯科医師会会計決算(案)の承認を求める件

《 監 査 報 告 》

決算監査報告書

公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

第2号議案 日本歯科医師会選挙人及び補欠選挙人選出の承認を求める件

第3号議案 熊本歯科衛生士専門学院学則の一部改正(案)の承認を求める件

[協 議]

1. 時局対策について
2. その他

※代議員会は公開となっています。傍聴を希望される場合は、事務局に必ずご連絡のうえ、ご来場下さい。

ご 訃 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



長 也寸志 先生

令和8年4月6日 ご逝去 67歳

- 郡 市 名：熊本市
- 入会年月日：平成11年7月27日



宇治 寿隆 先生

令和8年4月10日 ご逝去 66歳

- 郡 市 名：熊本市
- 入会年月日：平成20年11月25日

職 員 人 事

退 職

嘱託職員	奥村 和久	地域保健課	令和8年3月31日付
歯科衛生士	榮 静	口腔保健センター	令和8年3月31日付
契約職員	金子 円佳	口腔保健センター	令和8年2月28日付

採 用

派遣職員	山内真由美	口腔保健センター	令和8年4月2日付
------	-------	----------	-----------

異 動

書 記	池田 智子	地域保健課	令和8年4月1日付
書 記	今本 紗那	事業課兼務	令和8年4月1日付

会 務 報 告

自 令和8年2月20日
至 令和8年3月5日

所管	日付	摘要	出務者
総 務	2月20日	死因究明等推進協議会（県庁）	椿常務理事
		国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター運営委員会（国立病院機構熊本医療センター）	牛島会長
	21日	第2回九州各県会長会昼食会（ホテル日航熊本）	牛島会長
		第2回九州各県会長会（ホテル日航熊本）	牛島会長
		第2回九地連協議会（ホテル日航熊本）	牛島会長他神山監事を除く全役員
	22日	第2回九州各県事務局長連絡会（ホテル日航熊本）	永江事務局長
	24日	月次監査 1月末会計現況監査	神山・永松監事
		第10回理事会 【承認事項】（1）新入会員（2）関係機関・団体からの役員等の推薦依頼（3）後援名義使用依頼 【議題】（1）関係機関・団体への会費等の納入（2）令和7年度委託・補助事業予算書（案）（3）令和7年度熊本県歯科医師会会計収支補正予算書（案）及び積立金収支補正予算書（案）ほか 【協議事項】（1）エフエム熊本「歯とお口の情報発信コーナー」	牛島会長他全役員
	25日	第209回九州地方社会保険医療協議会熊本本部会（第二合同庁舎）	椿副会長
		第2回県救急・災害医療提供体制検討委員会（県庁）	椿常務理事
		第4回県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会（県庁）	椿副会長
	26日	第42回中規模県歯科医師会連合会（アルカディア市ヶ谷）	椿副会長、宇治専務理事
	27日	第141回都道府県会長会議（日歯会館）	牛島会長
		事務局職員面談	宇治専務理事
		【Web】くまもとメディカルネットワーク（KMN）コアメンバー会議	宇治専務理事
	28日	災害派遣チーム協働研修（熊本赤十字病院）	町田・椿常務理事他2人
		大阿蘇会新年会（熊本ホテルキャッスル）	牛島会長、宇治専務理事
	3月2日	県循環器病対策推進協議会（熊本テルサ）	馬場常務理事
3日	熊本さわやか長寿財団第5回理事会（ホテル熊本テルサ）	牛島会長	
	第17回常務理事会 （1）関係機関・団体からの役員等の推薦依頼（2）関係機関・団体への会費等の納入（3）後援名義使用依頼 ほか	牛島会長他常務理事以上全役員	
	5日	創刊55周年「くまもと経済」レセプション（ホテル日航熊本）	牛島会長
学 術	2月28日	都道府県学術担当理事連絡協議会（日歯会館） （1）学術・生涯研修事業関係報告（2）新Eシステム説明	豊田理事【来館Web】飯盛委員長
社会保険	2月28日	社会保険委員会小委員会 個別指導対策医療機関説明会	野田・園田理事、桐野委員長他2人
		社会保険委員会 （1）会員向け発行物（2）個別指導立会者、個別相談対応（3）報告事項と今後の日程	野田・園田理事、桐野委員長他9委員
地域保健 学校歯科	3月4日	各郡市学校歯科担当者会議打合せ	大林副会長、高田理事、高水間委員長
地域包括 ケア	2月24日	県在宅医療連携体制検討協議会（県医師会館）	町田常務理事
		第2回県地域リハビリテーション推進会議（県市町村介護予防事業評価支援会議）・第2回地域リハビリテーション支援協議会（県医師会館）	町田常務理事
	25日	【Web】地域包括ケア小委員会（各診療所） （1）次年度の研修会の講師選定日程（2）在宅医療啓発イベント内容（3）オーラルフレイル対策普及定着及事業 ほか	町田常務理事、立山・太田理事、園田委員長
	26日	【Web】がん医科歯科連携事業研修会リハーサル （1）接続確認（2）動線・役割分担確認	【来館】町田常務理事、太田理事他2人
	28日	【Web】在宅歯科医療各郡市担当者会 （1）熊本県在宅医療の現状（2）モデル地域報告（3）各郡市の現状 ほか	【来館】牛島会長、宇治専務理事、町田常務理事、立山理事他16人
	3月1日	第16回県医療・保健・福祉連携学会（県医師会館） 参加者：9人	牛島会長他大林副会長、椿常務理事を除く常務理事以上、高尾委員他3人
		【Web】がん患者医科歯科連携事業研修会 受講者：44人 講師：くまもと森都総合病院 采田 志麻 腫瘍内科部長 国立病院機構熊本医療センター 中島 健 歯科口腔外科部長	【来館】牛島会長、太田理事他4人
5日	【Web】都道府県リハビリテーション支援センター会議（診療所）	町田常務理事	

所管	日付	摘要	出務者
医療対策	2月20日	第4回コンプライアンス推進室会議 (1) 規程の作成 (2) 今後の日程	牛島会長、工藤副会長、宇治専務理事、椿常務理事、牧・松原良太理事、弘中副学院長、井上教務部長
	3月2日	医療相談	椿常務理事、松原良太理事、町田委員長他1委員
	4日	熊本県医療事故調査等支援団体連絡協議会・熊本県医師会医療事故調査制度支援委員会合同会議及び特別講演(県医師会館)	松原良太理事
厚生・医療管理	2月26日	【Web】九州地域の医療機関における電波利用推進協議会(診療所)	牧理事
センター	2月20日	障がい児者口腔ケア事業 三気の里歯科保健指導・歯科健診(三気の里) 健診者:17人	川島診療部長
		【Web】アクティブネットワーク九州打合せ	我那覇副センター長
	3月4日	口腔保健センター長診療日(口腔保健センター)	椿センター長
学院	2月21日	学院一般・社会人三次入学試験 受験者:2人(一般:1人、社会人1人)	井上教務部長
	24日	第5回入学試験委員会 (1) 出願者数及び合格者数の推移 (2) 各年度合格者の学科試験点数状況 (3) 令和8年度入学生一般・社会人三次成績一覧	牛島学院長、大林・弘中副学院長、井上教務部長他全委員
		第35回歯科衛生士国家試験出発式 2年生保護者対面実習	牛島学院長、大林・弘中副学院長、井上教務部長 正清教務委員
	3月1日	第35回歯科衛生士国家試験(九州産業大学) 2年生保護者対面実習	井上教務部長 吉武教務委員
		2年生保護者対面実習	緒方教務委員
		5日	卒業式リハーサル
	国保組合	2月20日	【Web】県国保連合会通常総会(診療所)

「歯と口の健康週間 プレイイベント」

開催のお知らせ



日本歯科医師会 PRキャラクター
よ坊さん

6月3日(水)午後2時より、くまモンスクエア(テトリアくまもとビル1階)にて日本歯科医師会キャラクター「よ坊さん」とくまモンの歯科啓発コラボイベントを開催します。

午後2時のステージ内ではよ坊さんが登場し、歯っぴー健口アンバサダー金子帆南さんが来場者に向けて歯と口の健康週間の紹介、お口の健康の大切さをアピールします。よ坊さんもくまモンとダンスをリズムを取りながら1曲披露する予定です。よ坊さんシールの配布も行いますので、お子さんが喜ぶと思います。会場は150人収容ですが先着順で国内、外国からの観光客や地元の方も多数お越しになられます。

平日ではありますが休診日の先生がおられましたら、お子さん、お孫さんを連れて足を運ばれてみてください。
(理事 秋山 清)

其の
1

会員専用グループ保険制度のご案内

保険料がさらに
お安くなりました

配偶者も1000万円
まで加入OK

最高「5000万円」の
保障が無診査で加入OK
保険期間は80才まで継続可能！

1年更新で配当金は
毎年加入者へ還元
(2025年の還元率約49%)

グループ保険は歯科医師会が契約者で
保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。

引受保険会社 幹事 メットライフ生命

其の
2

既に下記の保険会社で加入の会員様も
保険料納付は団体収納扱いでお願いします！



下記保険会社と団体収納契約をしている為、会費明細引きがご利用可能。



個人加入の保険料が団体割引でお安くなり、保険内容に何も影響ありません。

手続きは簡単、事務局が代行します。ぜひ便利でお得な制度をご活用ください。

朝日生命 アフラック生命 住友生命 SOMPO ひまわり生命
第一生命 日本生命 メットライフ生命



主な行事予定

June **6**



- | | | |
|--------|-----------|--------|
| 2日(火) | 第23回常務理事会 | (県歯会館) |
| 6日(土) | 歯の祭典 | (県歯会館) |
| 9日(火) | 第14回理事会 | (県歯会館) |
| 23日(火) | 第24回常務理事会 | (県歯会館) |
| 27日(土) | 定時代議員会 | (県歯会館) |



熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度



熊本歯科衛生士専門学校
Instagram



熊本歯科衛生士専門学院は
Instagram でも情報発信中！
ぜひご覧ください



編集者のつぶやき (I. M.)

来月3日、くまモンスクエアにて「よ坊さん×くまモン」の共演が決定しました。秋山理事をはじめ関係者の方々のご尽力により実現したこの企画、ダンスや歯科についての啓発活動が予定されています。よ坊さんの中の人を務めるのは我らが広報委員会のホープ、K先生♪口腔保健センターで培われた俊敏な動きがどう生かされるのか、大変楽しみです。仕事のためお手伝いに行けないのが、残念でなりません。皆様もぜひ、イベントの情報発信にご協力いただけますと幸いです。